

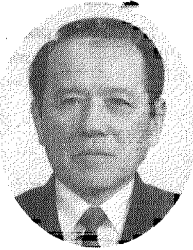
皇工會報

第11号
平成15年11月25日

発行 日立工業高校同窓会
発行者 同窓会事務局
日立市城南町2-12-1
☎ 0294 (22) 1049
FAX 0294 (21) 4591
印刷所 協立印刷
☎ 0294 (35) 7857

新会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



私はこの度、小林啓一前会長の後を継ぎ、この伝統と名誉ある日立工業高校同窓会会長に選出された長谷川であります。

小林前会長には長年に亘り県会議員という激務の間を縫って、同窓会長としての重責を果たしてこられたことに対し、衷心よりねぎらいの言葉を贈ります。私は小林前会長の方針を踏襲して行く所存でありますので、会員皆様方のご協力とご支援の程をよろしくお願い致します。

私は日立工業高校野球部が昭和五十六年度の全国高校野球選抜大会に出場して、あの甲子園球場において準々決勝まで進出を果たす

ことが出来たことに対し深い感銘を受け、なおかつ会員や在校生たちと一緒に頑張って共に感動した思い出は終生忘れることは出来ません。同窓会北茨城支部もその時期に結成されたものであります。甲子園出場という快挙に対して、多くの同窓会の方々が同じ方向にベクトルを合わせて進むことができたということでも、大変に意義のあることであつたと思っております。

昨今の新聞紙面やテレビのニュースなどでも採り上げられていすように、激動の中にあつて旧来の価値観は再考を求められ、親子の關係は揺らぎ、青少年問題は今や非常に深刻な状態にあるといつても過言ではありません。社会全般が教育の問題について、真剣に考える必要に迫られているのはご承知の通りです。

幸い本高校においては校長先生をはじめ、各先生方の絶大なご尽力により「質実剛健」という校風に沿って、在校生たちが自主性と探求心を養いながら、勉学やクラブ活動に意欲的に取り組んでおられ、更に卒業生の就職率も九十%

を越えるということに至っては誠に頼もしい限りであります。同窓会としましては会員同士の親睦を計ることは当然であります。が、学校側、PTA側とも連携を密にして、有意義な運営を進めて行きたいと思っております。

副会長挨拶

同窓会副会長 田中 鑽一郎



同窓会の会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、同窓会総会において突然副会長に選出されました事は、この責務の重大さに心引き締まる思いをするのみです。

私が日立市立中学校に入学したのが敗戦色濃き昭和二十年四月でした。敗戦までの約四ヵ月間に、日立市は空襲・艦砲射撃・傷夷弾等を受け、運動場は一トン爆弾で穴だらけ、教室の天井からは空が見える位に破壊され、そこが死体置場、大工は棺桶作り。学校に着いた我々四・五名は、先生から即「お前らよく来たな、トラツクに棺

桶を積む手伝いをして日製病院の裏の広場に置いて来た」。初めは、戸板を見付けてその辺にある死体を教室に運んで来い、終つたら白米の握り飯を食わせるからと言われた。白米飯と聞いて生唾を飲むくらい大変魅力はあつたが、十三歳の中学一年生にとつて登校途中で目にしてきた尋常でない死体の様子や数の多さから、そんな事出来る訳はなかつた。それより怖かつた。白米飯は諦めた。棺置き場は山のようにあつた。これを一度に焚毘にしよう。でもなかなか焼けぬなあーと焼く人が言つた。その仕事は数回やつてあとは先生に何も告げず帰つた。言つたら死体運びをさせられそうだったから。高萩まで国鉄線路を歩いてたら、艦載機に機銃掃射されて命からがら逃げ回つた。長い一日だった。そんな時代を乗り越えて来たからこそ今があるのだと命の尊さ痛切に感ずる。さて現在では別の意味での経済戦争の激動期でもある。そして、その波に飲み込まれそうな時でもある。この時期に我々は、相互理解を高め、連帯感を密にし、結束力を強める事が責務かと考える。

同窓会の在り方は？

同窓会は何をすべきか？

同窓会の活性化は？

これらの課題に取り組まねばならない時期でもある。微力ながら長谷川会長を補佐していく所存です。どうぞ、会員各位のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。